

## 『総括安全衛生委員会』の報告をします

県立学校では職場ごとに安全衛生委員会が設置されていますが(知ってました?)、県全体では、総括安全衛生委員会が開かれます。副教育長を委員長とし、県教委・医療関係者・校長・教頭・教諭の代表者で構成され、組合代表の委員も参加します。今年度の第一回が8月1日に開かれましたので、その概略を報告します。

### 県立学校休職者の状況

( )は精神疾患

H27	20 (15)人
H28	24 (19)人
H29	27 (21)人

- ◆県立学校の休職者数、特に精神疾患による休職が増えている。  
(休職者全体に対する精神疾患での休職者割合は、約8割弱!)  
→組合からは、「原因は単一ではないが、**休職者を減らすという視点から分析する必要がある**」と伝えました。
- ◆「3年に1回、各高校を巡回し、生活習慣病のリスクのある者、メンタルヘルス不調者等をリストアップし健康相談を実施している」との県からの報告について。  
→管理職より、「ありがたい、もっと増やしてほしい」と発言がありました。
- ◆ひと月の時間外在校時間が100時間を超えた場合、「疲労蓄積度自己診断チェックリスト」を基に管理職と速やかに面談を行い、本人の希望により産業医による面談を実施することになっていることについて。  
→組合から、「**罰を受けるというイメージがあるので、それを払拭してほしい。**」「**どうしたら100時間を超えないか、具体的な方策を立ててほしい。**」と伝えました。
- ◆メンタルヘルス対策の一つである、「管理職によるラインケア」については、全校の教頭が参加する職場改善のグループワークを行ったという報告について。  
→組合から、「個々の事例にどう対応するといいか、管理職同士で交流を深めてほしい」「**学校によっては100人を超える職員を校長・教頭だけで把握するのは困難ではないか。分掌の長も含めたケア体制をつくってはどうか。**」と伝えました。  
→医師会理事より「人を増やして負担を軽減すること、土日に大会に引率したら翌日の午前はフリーとすることなども考えないと」と意見が出されました。
- ◆人間ドックの事後指導受診率が、岐阜県の他の公務員と比較して極めて悪いとのことです →忙しいかと思いますが、**重大な病気の予防のためにも、事後指導に行きましょう。**
- ◆学校ごとの安全衛生委員会は、平均12.3回で、月1回ほどのペースで開催されているとの報告について  
→「委員会の内容が全職員の勤務に活かされるように、具体的な方策についても検討していけるとよい」と合意できました。
- ◆昨年度組合が提案した「セルフケア」についての冊子が、今年度から初任者全員に配布されることになったことが報告されました。
- ◆県立学校では今年度も9月に「ストレスチェック」が実施されます。  
→ストレスチェックの意義がまだ十分理解されていない問題点が指摘されました。

### 検診事後指導受診率

知事部局	94.6 %
県警察	99.2 %
県立学校	77.3 %
小中学校	53.3 %